

詳密なる批評を受く。

午後は二時より合宿所にて閉會式を擧げ、小林氏立つて閉會の辭を述べ終つて講師又一場の挨拶あり、續いて盛んなる互別會に移り、茶菓の間奇稜なる余興雲の如く起り、歡呼の聲拍手の響天地を動かし、大湖の水爲めに覆らんとす、蓋し未曾有の盛會なり、已にして暮色漸く迫り、時針五時に垂んとするに及び、互いに惜別の涙を呑んで萬歳聲裡に散會、こゝに全くこの紀念すべき講習會を終れり。

附記總計五十八名の會員中、埼玉野原庄作、東京竹内久子、滋賀中邑牛尾次郎、愛知富田圭五郎四氏は遂に參會せず、尙中途都合により歸宅せられたるもの三名ありたり。

### 御禮と御詫び（講習會出席の諸君へ）

主催者二人

○この夏の膳所講習會には、吾等二人元來迂愚なる上、交る／＼健康を害して居た爲めに、設備萬端頗る不行届であつたのは、遙々參會せられた諸君に對して、深く謝する處である、之れにも拘らず、諸君がよく不便、不都合を忍び、靜肅に平和に行動して、無事に終りを告げさせられたのは、吾等の最も感謝する處であります。

○宿所の事に就ても、近くに適當の家なく、已を得ず大津に撰定して置いたのを、俄かに又膳所に變更した爲めに、只さへ土

地不案内な諸君に對して、一層御迷惑を掛けたのは、實に恐縮の次第でありますけれども只諸君の便利を思ふの餘りに至つたのですから、悪しからず思つて貰いたいのである。（以上二人）  
○無理を通して一週間を我慢した結果、最後の日に及んで、遂に倒るゝに至つた爲めに、互別會にも臨むことの出来なかつたのは、私の最も残念に思ふ處であります。終りを完ふしなかつた罪は茲に謹んで謝する外はありません。尙閉會の當夜、居残りの諸君が、多大の全情を寄せられ、わざ／＼闇を犯して弊居を御見舞下されしに對し、茲に忝しく感謝の意を表して置きます。（病床にて藤田紫舟）

### ささなみ集（膳所講習會餘録）

講習會は有益であるのは勿論のことだが、其他に種々な面白いことがある。何でも四五回續いて來た人もあるさうだが、僕でも今年を皮切として毎年出席する覺悟だ。大阪からダイブ見えたね、それがまた何れも通人揃いでね、ノベツ幕なしに洒落散らされたのには少々アテられたよ。豈それ洒落のみならやんさ、御座敷藝は何でもござれ、若しそれ△△君□□君の如きは寄席の高座に上つても飯は食へやう。神聖なる處の贅六美術家を侮辱すると許さんぞ。爾ら其調子がすてに滑稽だね。何も大阪だからとてそないな人ばかりはおまへん、造次顛沛畫のどを忘れずに、便所の中で光線と色彩との關係につき大發見をした